

ROTARY INTERNATIONAL

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



OFFICE OF GOVERNOR OF DISTRICT NO. 60

SHOGO YANASE

4 OMOTE TAKASHIMACHO, NISHI-KU, YOKOHAMA, JAPAN



No.6

昭和二十九年十月三十日 第六信

第六〇区ロータリークラブ

会長並に幹事殿

国際ロータリー 柳瀬省吾
第六〇区ガバナー

Report on Rotary Golden Anniversary Joint Annual Conference Districts 60 and 61.

日本に於ける五、五〇〇のロータリアンが一ケ年に亘り待望のロータリー五十周年記念第六〇区第六一区連合地区年次大会も、去る十月十六日十七日の両日、京都勸業会館の大ホールに於て開催せられ、盛況裡に無滞終了いたしまして、誠に御同慶に存じます。茲に大会の大体の経過を誌しまして、報告といたします。

1. 第一に報告いたしたい事は、本大会ホストクラブとして、活動して下さつた京都ロータリークラブ会員各位の長日月間日夜に亘る御努力であります。3,200に垂んとする参加者を十二分に満足せしめ、「近く又京都で、連合大会を開いてもらいたい」との無理な要求を耳にした事でも、其盛況が想像せられ、万事が滞りなく終始した事が、解ると存じます。然し其処には、大会の委員方で、少しも大会に臨む事が出来ないで、バックで色々の事務を処理して下さつた方々が、多数居られた事を承つて、心からありがとう、を申したいのは敢て私一人ではないと存じます。尙又京都市当局、公共団体、警察、ボーイスカウト等の御配慮に対しても、深甚なる感謝の辞を捧げたいのであります。

2. 第二は本大会に於ける、出席率であります。登録した会員数が第六〇区クラブ会員数852 家族数552計1,404名。第六一区仮クラブ2を含み74クラブ会員数1,166 家族数594計1,760。合計147クラブ、会員数2,018 家族数1,146名。総計3,164名の多数に上りました。参加人員の多数もさる事ながら、日本の全クラブが、洩れなく、代表者を大会に送り100%の出席を得た事は、全く特筆大書すべき事で、ホストクラブの熱心なる御勧誘と、参加ロータリークラブの、熱意の表われが、実を結んだものと考えられ、日本ロータリーの、将来の輝しき発展が、期待せらるゝものと申さねばなりません。

3. 第三は元 R.I. 会長 Angus S. Mitchell 氏の御出席であります。幾千里の道を遠しとせず、R.I. 会長代理として再び大会に御出席下され、吾々に慈父の如き温顔と、温き心を以て、指導して下さつた事は、感激に耐えない次第であります。同氏は濠洲首相メンジース氏、駐濠日本大使西氏、Angus の属するメルボルンクラブ等、数々のメッセージを持参せられ、大会に於て発表せられたことは Angus の本大会、及び日本ロータリアンに対する、美しい御気持の表われであり、感謝の外ありません。同氏は十八日早朝宿舎を立たれ手島理事同道にて第六一区の数クラブを訪問せられ、二十二日岩国より空路帰国の途に上られましたが、京都市御出発に臨み、第六〇区ロータリアンに対して、同氏に寄せられた

る御厚意を謝し、呉々もよろしくとの伝言がありましたから、茲に申添えます。（同氏の大会に於けるメッセージ邦訳を、後段転載してありますから是非御一読下さい）。

4. 第四は前日懇談会と部門別協議会に就てであります。前日懇談会が十五日午後二時三十分より午後五時まで、四百余名の参加者を得て、討議の途中には Angus S. Mitchell 氏の御出席を見、手島前理事の司会の下に、日本ロータリーとして、緊要なる各提案が、討議せられましたが、該博なるロータリー知識を有せらるゝ、手島前理事の手際よき議長振り、又小林、鳥養、富脇、北沢各前理事の説明も華を添え、又提案者の熱心なる議案の説明、是れに対する甲論乙駁があり、追加議案と共に論議も無事終了いたしました。誠に意義ある懇談会であつたと考えます。

議案並に其決定に付て略記いたしますと、

(1) 東京ロータリークラブ提案 1960年又は1961年に、国際ロータリー年次大会を日本（東京）に於て開催の件。

満場一致可決、決議として本会議に上程の事に決定。

(2) 世界平和への祈りと努力を新にしたい（浜松クラブ提案）ロータリー創立五〇周年を迎ふるに当り、ロータリーの崇高なる目的達成の為、各ロータリークラブは過去に於ける奉仕活動を検討、反省を重ね、奉仕の実践に一層の努力を誓ふ事を申合せ大会決議とせん事を望む（大阪クラブ提案）。

上記両案を、一括し決議として、本会議に上程の事に決定。

(3) 小林元ガバナーより、本大会を準備せられたる京都クラブ及京都市民に対し、参加会員より感謝の意を表する為、京都市に対し、参加会員より金五百円宛を醸出の件に付提案あり、満場一致可決、更らに本会議に提案に決定。

(4) 十二月三十一日即大晦日を休日並に、各クラブ共休会とするや否や鳥養元ガバナーより提案あり、一応本部に照会の上決定の事となる。

(5) Evanston に於ける新本部に、五〇周年記念として、桜樹の種を寄贈する件（東京クラブ提案）一応本部の意向照会の事。

(6) 四地区に分割後、文献の作成、其他各地区間の連絡に付ては四地区間に連絡委員を設け、又文献の作成、邦訳に付ては手島前理事に担当して頂く事。

(7) 騒音防止国法化の件（札幌クラブ提案）各クラブに於て、其地の当局を通じ防止に努力する事。

(8) Four way Test 邦訳の決定。

兼々各クラブから募集中でありました、四つのテスト邦訳を左の通り決定いたし度旨手島五十周年委員長から発表あり、満場一致決定しました。

「四つのテスト」

眞実かどうか.....Is it the truth?

みんなに公平か.....Is it fair to all concerned?

好意と友情を深めるか.....Will it build good will and better friendship

みんなのためになるかどうか.....Will it be beneficial to all concerned

(9) 4 Way Test 邦訳作曲の件（東京北クラブ提案）東京北クラブに於ては已に作詞作曲せられ大会第二日、数名の会員に依り発表せられました。

(10) 手島前理事に対する感謝決議、小菅第六一区ガバナーより手島前理事の過去の御

功績に対し感謝の決議と共に微意を表する為、記念品贈呈を提案し満場一致可決、大会決議として本会議に上程の事に決定。

(11) Inter-Districts Advisory Committee of Past Governors 設置の件 (第六〇、第六一区両ガバナー提案) 今後日本のロータリー地区も四区に分れ、各地区間の連絡、共通の問題に付て、元ガバナーの意見を徴し、種々相談する機会を持つ事、ガバナーとして、指導上資する処大なりと考えらるゝに付、本部承認の下に、上記の如き諮問委員会を置く事、適当と考えらるゝに付、提案したるも、手島議長より、本年一月の理事会に於て、カナダに於ける Canadian Advisory Committee も廃止の希望を有し、今後斯る機関は承認せざる、本部の意向なる旨説明ありたるに付、提案却下の事とせり。依つて今後は各ガバナー間にて充分打合する事。

次に部門別協議会の模様について、報告いたします。大会第一日午後三時過より五時迄開催せられました。会場の関係上、各クラブより出席者一名と限定しましたが、七部門共大体一部門百名余の出席者があり、従来になき盛会でありました。私も各部門を、順次回訪いたしました。各参加者何れも、熱心に討議して居られた事は、非常に悦ばしく、日本のロータリーの将来の活躍が、大に期待せられたのであります。殊に今回の部門別協議会には、前ガバナー、前クラブ会長等の方々が顧問として出席せられ、質疑に応答して下さった事は、協議会に華を副へられたのであります。

5. 講演 名実共に兼ね備わる講演が、年次大会の行事の一つである事は申す迄もありませんが、今回の連合大会に於て、第一日に日本として唯一人のノーベル賞受賞者の、京大教授の、湯川秀樹博士の御話があり、又第二日には憲法の泰斗、東京南クラブ元会長、金森徳次郎博士の御講演があつて、大会に於ける講演の目的が、完全に達せられたのであります。湯川博士は「原子と人間」の題下に、原子が人間生活に及ぼす高邁なる、御研究の御発表あり、又金森博士は「ロータリー精神と日本国憲法」に付て、新憲法第十一条が人権に関する規定が、ロータリー精神を必要とすべき点等、達弁を振つて蘊蓄を発表せられ、時間的制限が、惜しまれたものであります。

6. 物故会員に対する黙禱 昨年度大会以来物故せられたる会員数は、第六〇区十六名、第六一区六名で、是等亡き会員に対する黙禱が、会員一齊起立の下に捧げられ、故人の冥福を祈つた事は、大会として誠に厳肅なる一場面でありました。

7. Governors Nominee の選出 地区大会の最も重要な行事である、次期ガバナーの選出は、推薦候補者が四地区、夫々一名であつた為、投票の方法に依らず、各地区選挙委員会に於て詮衡の結果、満場一致、次の諸氏が指名せられました。

新第六〇区 ガバナーノミニー 小 松 隆氏

(東京クラブ会員 東京クラブ推薦)

新第六二区 ガバナーノミニー 伊藤次郎左衛門氏

(名古屋クラブ会員 名古屋クラブ推薦)

新第六三区 ガバナーノミニー 石川 芳 次 郎氏

(京都クラブ会員 京都クラブ推薦)

新第六四区 ガバナーノミニー 君 島 武 雄氏

(福岡クラブ会員 福岡クラブ推薦)

小松、伊藤、両君の御履歴を紹介いたします。

新第六〇区ガバナーノミニー 小 松 隆君

同君は静岡県三島市の御出身で、小学校卒業後直にアメリカに渡られ、イリノイ州マンモスハイスクール及同カレッジに学ばれ、バツチエラー・オブ・アーツの学位を得られ、更にハーバート大学に進学せられ、マスター・オブ・アーツの学位をも得られ、一九一三年東洋汽船会社に入社、浅野社長の秘書として勤務せられ、一九二一年には同社サンフランシスコ支店長に榮進、一九二六年同社を辞せらる迄五ヶ年間同地にあつて内外に活動せられた事、今尙耳に新なる処であります。

爾来浅野総一郎氏の顧問としてセメント事業に、水力電気の開発に、埋立事業に關与せられ、其間紙袋会社、浅野ドック、日本鋼管の幹部に就かれ、現在は飯野海運の顧問をいたして居られます。

同君がサンフランシスコ御在住時代から、已に国際人としての真価が認められ、数度に亘る海軍々縮會議やら、海軍會議、労働會議等の随員、顧問或は代表として欧米に派遣せられ、又太平洋會議、世界教育會議、日米協會等の代表として、海を渡る事十数回、終戦後も終戦処理局の顧問、經濟合同委員会副委員長として又農林省、運輸省等の顧問として盛に活躍せられたのであります。一方名譽職として同君が東京日米協會の會長として、樺山伯の後を引受けられ、已に三期に亘り日米国交に活動して居られる事は、余りに有名であります。殊に同君がグルー奨励資金の理事として、又日本ハーバートクラブの會長として、学生の渡米に關し尽力して居らるゝ事も特記すべき事でしょう。ロータリアンとしての同君は、二十五年前の一九二九年東京クラブ會員となられ、一九三八—一九九年副會長に、又一九四六—八の二ヶ年東京水曜クラブ會長を勤められたのであります。戦前ハバナ及ボストンのロータリー國際大会に出席せられ、戦後日本のウイークデークラブの國際ロータリー復歸に就ては、多大の努力を払われ、今日の日本ロータリー拡大は、一に同君の賜と云ひ得るのであります。同君の如きロータリアンが逸早くガバナーとして、吾々を指導して下さるべきでありましたが、不幸兵器処理委員会委員長として誠に御氣の毒なる濡れ衣を着せられ、今日となつた事は遺憾であります。

同君に關して申上る事は山程ありますが、同君の國際的地位、其御活動振りを見まして今後ガバナーとして日本ロータリークラブの世界的地位は一段と向上し、一層の發展を見るものと考えられるのであります。

新第六二区ガバナーノミニ— 伊藤次郎左衛門君

同君は御承知の通り名古屋の名門松坂屋伊藤家の出であります。昭和三年度慶應義塾大学文学部を卒業、同四年松坂屋副社長として同八年には社長に御就任なりましたが、昭和十六年一月社長を辞せられ、相談役に就任せられ、戦後昭和二十二年には再び社長に就任せられ、今日に至つて居られます。松坂屋以外各種の事業に關与して居られますが公職として昭和二十五年名古屋商工會議所會頭として名声を馳せられ、又社会事業關係に於ては、保護司會、衆善會、公共福祉事業協會、共同募金協會の會長として社会事業に尽瘁せられ、更らには東海學術奨励會、児童福祉協會、済生會等の理事としても活躍せられて居るのであります。

ロータリアンとしての同君は、一九三三年名古屋ロータリークラブの會員となられ、一九五二—三年度丁度第六〇地区大会が、名古屋に於て舉行せられた際の會長として現在はロータリーインフォメーション委員長を勤められて居るのであります。同君は私が名古屋在任当時御懇意に願つて居りますが、資性温良、指導力に富まれ、必ずや有能なる又最も若きガバナーとして第六二区を御指導ある事と存するのであります。

8. 次年度地区年次大会開催地の決定。

次の通り決定、御引受願う事となりました。

新第六〇区 新潟市に於て開催

新潟、長岡、柏崎三クラブ共同ホストクラブとして

新第六二区 金沢市に於て開催

金沢クラブがホストクラブとして

新第六三区 徳島市に於て開催

徳島クラブがホストクラブとして

新第六四区 広島市に於て開催

広島クラブがホストクラブとして

大会を御引受下さつた各ホストクラブには、これから大変な御配慮の事と存じますが、何卒簡素にして、有意義なる地区大会を開催せられん事を、希望いたします。

9. Resolutions

本大会に於て採択せられました決議を、次に掲載いたします。是非御一読を願います。

決議第一号 我国におけるロータリー活動は近年急速な進歩を遂げ、年々新たに数十のクラブを増し、今日その数既に一四五に達した。

従つて我国における国際ロータリー地区は、一九五五年より第六〇区、第六二区、第六三区及び第六四区の四区に分割することが国際ロータリー理事会で決定せられた。しかも茲数年ならずして再分区に迫られる情勢にある。これらのことはロータリー発展のため真に祝福すべき事柄である。

日本は近来産業の発達見るべきものがあり、加うるに風光明媚観光に価するものがある。猶お東京都は、世界屈指の大都会で、文化施設も整い、外客を迎うに適している。又東京ロータリークラブは東洋最大のクラブで、国際的大会を引き受ける実力を有する。故に一九五四年度国際ロータリー第六〇区及第六一区連合大会は来一九六〇年又は一九六一年度国際ロータリー大会を東京に招致するよう、東京ロータリークラブに慫慂し国際ロータリー理事会に対しては、その招致に応ずるよう要請することを茲に決議する。

決議第二号 現在の社会情勢は内外をとわず、ロータリー精神の普及によつて、健全なる事業の発達、明朗なる社会の建設、並に国際間の理解による親善と平和の確立を求むるに切なるものがある。依つて

我等ロータリアンは、先づその精神に徹し、自づから之を実行に移し、ひいてはその影響を一般社会に及ぼすように努力することを茲に決議する。

決議第三号 ロータリーの歩み五十年は吾等ロータリアンにとつて最も印象深く記念すべきものである。此時にあたり吾等の国際ロータリー会長ハーバート・ゼー・テラーは吾等を示すにロータリー四つの進路に加うるに、特にロータリー五十周年時に対する六つの目標を以つてした。何れもこの五十周年を記念するに最もふさわしい事柄である。依つて本大会は、吾等ロータリアンが、国際ロータリー会長ハーバート・ゼー・テラーの指導に従い、(1) 過去を省み将来に備え、(2) ロータリーの幸福を出来るだけ多くの人に及ぼすよう会員の増加を計り、(3) ロータリアンとしての自己評価をするため四つのテストの実行に努め、(4) 自から青少年の模範となつて彼等を指導し、(5) あらゆる機会に国際的親善の増進に力を致し、(6) 自己の社会的地位に鑑み善良なる国民となることに努力することを茲に決議する。

決議第四号 ロータリーの健全な運営とその発展は国際ロータリー理事会に俟つところ大なるものがある。我がロータリアン手島知健君は過去二年間にわたり、国際ロータリー理事としてその使命を全うせられ、世界のロータリーに寄与せられたほか、内にあつては国内ロータリーの各種会合に出席し、ロータリーの正しい行き方について熱心に指導し、出でては国際ロータリー会長代理として、国外のロータリー諸大会に出席しその蘊蓄を傾け、世界ロータリアンの信頼と尊敬を勝ちえられたことは、吾等の誇りとし感謝するところのものである。依つて本大会は手島知健君の過去二年間にわたる国際ロータリー理事としての御功績を称え、その労苦に対して深甚の謝意を表することを茲に決議する。

決議第五号 国際ロータリー会長ハーバート・ゼー・テラー氏はオーストラリアのメルボーンより前国際ロータリー会長アンガス・エス・ミツチエル氏を一九五四年度国際ロータリー第六〇区及び第六一区連合大会に派遣して、会長に代り祝辞を述べられ、本大会参加者一同に深き感銘を与えた。依つて本連合大会に出席した第六〇区及び第六一区ロータリークラブの会員は、国際ロータリー会長ハーバート・ゼー・テラー氏の御厚意を、又アンガス・エス・ミツチエル氏に遙々濠州より御参列下されたことを深く感謝することを茲に決議する。

決議第六号 オーストラリア首相ロバート・ジー・メンジス氏、西駐濠日本大使、メルボーン、ロータリークラブ及びウイリアムスタウンに開かれたるロータリー・インター・シテイー・フォーラムよりそれぞれメツセージを送られ、本大会を飾られたについては本連合大会はメンジス首相、西駐濠日本大使、メルボーンロータリークラブ及びウイリアムスタウンにおけるインター・シテイー・フォーラムに参加せられたるクラブに対し感謝の意を表することを茲に決議する。

決議第七号 本大会に出席せられた国際ロータリー会長代理初め多数の外人に、本大会の運行状態をあるがまゝに理解していただくために、東京ロータリークラブ常備のイアホーン施設を移設するにあたり、パンアメリカン航空会社のウイリアム・オートウイン氏はその輸送及取付を無料奉仕せられたばかりでなく、解訳者まで派遣して本大会の国際的意義を深からしめたについては、本大会はパンアメリカン航空会社とその支配人ウイリアム・オートウイン氏にその厚意を謝し、東京クラブに貴重なる施設を貸与せられたことに敬意を表することを茲に決議する。

決議第八号 過去一年間我国におけるロータリーの進歩に著しいものあるは区ガバナーの献身的指導に負うところが多い。依つて本大会は第六〇区前ガバナー宮脇富君及び第六一区前ガバナー北沢敬二郎君にその労苦を謝し敬意を表することを茲に決議する。

決議第九号 六〇区及び第六一区五十周年記念連合大会の成功は、開催地京都のロータリークラブ会員諸君の献身的御努力を初めとして、次に列記する地元の官庁、会社、並に個人の御協力と便宜の御提供とに負うところ頗る大なるものがある。就ては本連合大会に出席したるロータリークラブ会員は、京都ロータリークラブ会員諸君を始め、京都府、知事、京都市長、宮内庁、市警本部、各警察署、消防局、左京消防署、左京郵便局、国鉄、各新聞社、NHK、KHK、日本交通公社、京阪バス、松竹、大映、ボーイスカウト及同志社グリークラブの各位に対し、深く感謝の意を表することを茲に決議する。

決議第十号 次期の国際ロータリー第六〇区年次大会は新潟市において、第六二区年次大会は金沢市において、第六三区年次大会は徳島市において、第六四区年次大会は広島市

に於て、一九五五年十月一日より十一月十五日の間に開催することを茲に決議する。

10. 以上の外、ロータリー奨学生、月野汎、宮野成二両君の帰朝報告あり、又元ガバナー小林雅一氏を議長とし、宮脇前ガバナー、柏原元東京クラブ会長、直木元神戸クラブ会長露口元大阪クラブ幹事諸氏を、解答者とする自由討議 (Town Meeting) が行われ、参会の会員との間に種々質疑応答が交され、一般に裨益したる事少なしとせず、更らには又参加クラブ代表挨拶として、釧路クラブ会長嵯峨君がユーモアに富む名挨拶をなし、併せて同君より前々日懇談会に於て決定せる、京都市に対する参加会員より、寄附金の提案を満場一致可決し、手島前理事の大会に関する感想と、小菅第六一区ガバナー及私の挨拶を以て二日間に亘る大会本会議の幕を閉じましたのが、正三時二十分で、プログラムの時間カッキリ、堀内大会 S. A. A. の御自慢の時間の正確さには、何人も拍手を以て応じた事でありました。

第一日、第二日本会議の終了後は Mitchell 氏に対する記念品贈呈方法の新奇なる着想に感歎し、華かなる余興に打興じ、Mitchell 氏と同行せられたる Bruce Small 氏の美声に、一同魅せられ、又大会の前日ゴルフ競技に、大会終了後洛中、洛外に亘る見学、舟遊、茸狩に或は遠く大和路に、或は丹後の天の橋立に、バスを連ねてエキスカージョンに終日を楽しまれ、交友を新にせられた事は、本大会掉尾を飾るものとして、参加クラブ会員家族が、如何に満足せられた事か、想出は数々ある事と存じます。茲に再び京都クラブの完璧なる御手配に対して、心からなる感謝の辞を捧ぐるものであります。

11. 最後に Angus S. Mitchell 氏の大会第一日に於けるメッセージ及私の述べた報告兼挨拶を掲載いたします。

○国際ロータリー第六〇区第六一区連合年次大会に於けるミツチエル会長代理演説

親愛なる友、同士ロータリアン諸君に深甚なる敬意を表します。

先づ、諸君のこの 50 周年記念連合大会へ派遣せられる会長代理として私を指名せられた Herbert Taylor R. I. 会長の好意に対し、感謝と敬意を捧げる次第であります。

私はこの日本国を数度訪れました。第一回のそれは 1910 年にさかのぼる。続く三回の訪問はロータリーに関係してゐました。1937 年には私はオーストラリア使節団の団長と云う光榮な立場で参つたのであるが、その時に皆さんから与へられた特別の親切と歓待とに対しては、今尚団員一同の感銘忘るべからざるものがあります。

戦争の惨劇はロータリー団結に一時的の分裂を来しましたが、多数の諸君の心の中に根を張つたロータリー精神を抹消することは出来ませんでした。1948 年 7 月から 1949 年 6 月に至る一ケ年間は、私の生涯で最も優遇を受けた期間でありました。それは即、その期間私は R. I. 会長であつたからであります。

日本と独乙とのロータリー復帰は私の R. I. 会長としての行政業績の光彩であると考えて居ます。従つて私は諸君の為に遂げた急速にして健全な発展を、私自身のほこりとし又喜びとするものであります。このほこりと喜びは、又全ロータリー組織が分つべきものでありますが、然し特に私の理事会員、当事の事務局長 Phil. Lovejoy, 現事務局長 George Means 以上に、ほこりと喜びを感じ得る者はないと思います。御承知の通り、George は自身この国へ来て、最初の復帰 7 クラブの再結成に大きな助力を与へたのである。最近の彼からの手紙には、“貴下は私が日本のロータリーに不変の関心を持つて居ることを御存知でせう。私が嘗て交渉を持つたクラブや人達にお会いになつた場合に

は、私の深甚なる敬意をお伝え下さる様お願いする”とありました。

私は 1950 年に、親友 Jock Reid と共に第二回目のロータリー訪問を致した時の幸福な記憶を呼び起します。それは諸君が戦後第一回区大会をこの地京都で開催された時のことであります。その時も 1937 年と同様に、諸君から熱烈な友情を賜りました。而して今回の第三回目のロータリー訪問に於て、諸君と席を同くして、ロータリーを信仰し、愛し、そしてその維持発展に多大の努力を払つて、それを現在の如き高水準に迄高められた勇士に重ねて相まみへ、又私の熱望するところの友情を改めて新にし、緊密にすることが出来るのみならず、その上多くの新しい友人を恵まれると云うことは喜びに堪えないところであります。

諸君の歓迎を忝うし、心から感謝致します。

R.I. 会長から諸君へ送られた挨拶を携えて参りました。会長からは既にガバナーへメッセージを送られて居ますが、更に私を通じて、ガバナー、パストガバナー、手島前理事、列席の淑女、ロータリアン、来賓各位へ深い敬意を伝達せよとの依頼がありました。Herb. Taylor は優れたロータリアンであり、偉人であります。ロータリー及社会のために尽した彼のサービスは既に定評のある所であります。それは高度のサービスであつたし、又将来も然うでありましょう。彼の指導の下に於けるこの一年は、恐らく、ロータリーの最も輝かしい歴史の一つを作るだろうと私は予告します。彼はロータリー活動の、しきたりの計画とは別に、特別の方針目標を吾々に提示しました。即五十周年記念としての特別の方針であります。各クラブ会長に向つて、刷りものが配布されましたが諸君のガバナーは、この重大なロータリー年度に於ける R.I. 会長の希望と抱負を達成させるための手段方法に就いて、諸君と協議されるでありましょう。願くは会長のこの希望と抱負の実現に、諸君が全力を傾倒して協力されむことを切望します。

今年度は実に大切な年であります。一は、これ迄に成し遂げた跡を顧みて満足して静思出来る意味に於て、又一はこゝで更に覚悟を新にして、他の人々をも鼓舞し、従来に増して活動を強化せむとする意味に於て。

人に分つと云うことは人生の大きな喜びである。Herbert 会長は彼自身既に多くを人に分ち来つた人であるから、彼がロータリーを他の人に分つことを、唱導しても敢へて驚くに当らない。ロータリー会員の特権に就いては今更説明の要はなく、又ロータリーが人間の生活の向上に寄与するものであることも亦疑いのないことである。然らばロータリー会員を増加して、この特権享受者を多くすることに異議がある筈はない。尤もこの場合職業分類規定はこれを厳守し、又会員資格の標準高度はこれを確守することを条件としての話である。会長は五十周年記念として、各クラブ最低 10% の会員増加を提唱しました。私は、より多くの人をロータリーに入れると同時に、より多くロータリーを人間の中へ導入する様努むべしと示唆します。

吾々の会長は最も友情に富んだ人である。私はこの世界に、友情程大切なものは無いと云うことを極言します。それは無限の力を持つ。私は年を取る程、その重要性をより多く感知する。私はロータリーのおかげで、多くの友人を作る機会を与へられたのであるが、その一事だけでも、償ふことの出来ない大きな借りを、ロータリーに持つて居ると思ひます。私は友情と云うものは造物主の心の中に、世界の始めから宿つて居たと信するに至つたのであります。それは、造物主は多くの美しいもの、貴いものを造り、しかも美しいもの、貴いものを一ヶ所に纏めて置かずに、誰でもが楽しめる様に、広く各

地に散在させてあるのである。或一国内にまとめずに、至る所に美しい樹、美しい花、美しい景色、美しい人間を分布させて居る。この事柄から、私は友情と云うものは、最初から、正しいものと企図されて居たものであると断言する。

最近数年間各地を旅行して、人類には多少の差異はあるが、多くは自分自身の国、自分自身の家族を愛し、又農民たると、職場従事者たると、工場労務者たるを問はず、多くの者及善に忠実なる者は、多少の例外はあつても、平和な地位を保持し、それから来る幸福を味うこと以上の念願を持つものではないことを知つた。彼等の多数は善いものを認識し、人に親切をしようと切望して居る。

数年前私は Dick Hedke 会長の代理として、コロンボで開催された印度地区の大会に出席した。それには、モスレム、ヒンズー、モハメッド、祇教、仏教、基督教と云う多種の人種と宗教から、白人も色のついた人々もの出席があり、彼等は相会してそして会食した。スカウトを除いて、斯くの如き会合が出来るのは、唯ロータリーあるのみと思ふ。会員“Rusty” Rustomjee が友情に関するすばらしい演説をした。この風彩の勝れた祇教徒紳士は、友情と相互理解とがなければ何事もし得るものでないと云うことを強調し、結論として会衆中から主な宗教の代表を指名して、夫々の聖典から友情に就ての話をさせた。すべて誠に良い話であつた。その時の吾々の得た感激と印象は諸君の想像に任せたい。私はこの印象を忘れることが出来ない。ロータリーの友情は皮膚の色、人種、教義を超越する。ロータリーの友情が近代世界に於て、最も強く国際的友誼を推進しつゝあるものゝ一つであると云うことは今更言うを俟たない。何となれば、全然政治的圧力に基づくのではなく、只強い何物かの力即友情の本質真義に基いて、会員が一体に結ばれて居るのであるからである。

友誼はロータリーの魂である。それは愛情への希求から生れる。友誼はロータリー齒車の轂である。ロータリーの生命は轂の周りを廻つて居り、すべての活動はそれから輻射せられる。人間の職業は、已むを得ないことであるが、多く自己本位となる。他の人と会うにしても、普通の対人接触は自己本位の形に於て行はれる。各人夫々の思惑があり、為すべき自分自身の仕事がある。自分自身の為を考へざるを得ない。他の人も亦同様である。人と人との普通の対人接触は商行為又は専門職務の形で行はれる。換言すれば商人として或は弁護士として会談が行はれるのであつて、“人間”として会見するのではない。人間そのものは、職業の覆面の裏に隠れて居る。彼は彼のクラスの言葉を使う。然るに売り買いのためではなくて、人間を人間として会談し、友として腕組みし、真の人間そのものを知つて友誼を結び度いと云うのは、吾々人間の心の裡にある願望である。この願望から、即ロータリーが生れたのである。故にロータリーはその定義を言葉で示すことは或は六ヶしい。それは魂の中にあり、一つの雰囲気である。董の芳香を香ぎ取るが如きもので、言葉で定義づけることは六ヶしい。友誼とは何ぞや。それは食物の如し。食慾の前の美味食物の如く、炎天下の冷飲水の如し。宗教の信条、家庭内の自然の愛情、市民の愛郷心、事業界の信用、音楽の諧調、肉体の魂の如し。友誼はロータリーの精神躍動である。友誼には機会が与へられなければならぬ。すべての人に、他の人を知らしめよ。クラブの内で未知の人があつてはならぬ。未知の人をかり出して、よき知り合ひにせよ。

R.I. 会長は理事及職員と共に、あらゆる面で各クラブに出来る限りサービスしたいと熱望して居ることを諸君にお伝へします。又彼等は吾々の活動目的の推進に対する諸君

の協力を期待し、それに対する諸君のよき構想示唆を熱望して居る。所属クラブを通じて斯かる協力をする事は各ロータリアンの責務と特権である。個人は国際ロータリーの会員とは云はないのであるが、ロータリアン個人の立場の重要性を私はこゝで強調したい。R.I.の構成分子はクラブである。強力な、雄々しいクラブを俟つて初めてロータリー活動が強化される。故にロータリーの効果なり、影響なりは、一に個人ロータリアンの活動如何に係り、吾々個人がその責務を果せば果す程、より多くの効を収めることが出来、又影響するところも大となるのである。ロータリーに入会すれば夫々義務を負う。ロータリーから得を取るために入会して居るのではない。而して吾々は指導的資質があると認められて選ばれたのである。指導者と云うものは何れの社会にも必要であり而して吾々は能ふ限りの指導的役割を果すべく期待されて居るのである。吾々こそは、公正な、そして愛に満ちた世界を作ることが出来、且それを保持するに適する人間たるべく、吾々自身は云う迄もなく、周囲の人達をもその様に誘導し得るグループたるべしとの挑戦を受けて居るのである。ロータリーの目的はロータリアン個人の貢献によつてのみ達成せられ、又個人の活動がロータリーに於て最大の価値を持つものであると云うことを自覚するのが、吾々ロータリアンの義務である。

私はしばしば“ロータリーは何を為しつゝありや”と聞かれることがある。この質問はまちがつて居る。正しい質問は、“ロータリアンとして私は何を為しつゝありや”でなければならぬ。

色々異つた心理、感受性、習性を持つた多数の国に存在する多数のクラブの相手として、大きな役割を果しつゝある理事会及職員のことにつき少々言及したい。尤も理事会のことについては多くは語るまい。理事達は個人の犠牲に於て、忠実に且十分にロータリーに奉仕しつゝある。そしてそれは、御承知の通り名誉職なのである。然るに多数理事の体験、及、理事に接して知り得る所から見て、喜びの気持を以て万事が運ばれて居るのは、只愛するロータリーの為めだから、と云うだけの理由に基くのである。と云うことを申し上げたい。

ロータリアンとして、私が長年嬉しく感じて来た特権の一つは、会長としての一年間R.I.職員と一所に働くことが出来たと云う事である。彼等と事を共にし得たことは全く愉快なことであつた。私の知る何れの事務グループも皆そうであつたが、彼等はすべて勝れた人達であつた。彼等の親切と協力は、私の全ロータリー生活を通じて、何時迄も記憶に残るものである。会長がクラブを指導援助するに必要なすべての資料は彼等によつて整へられる。理事会にかゝるすべての問題の基礎資料も勿論同様である。ガバナー及R.I.諸委員長に対しても色々な文献情報が必要であり、更に又各クラブの会員に対しても、雑誌“ロータリアン”以外の多数の有益な文献を整へなければならぬ。この偉大なロータリー原動室及そこで整へられた、直ぐに役に立つ有益な諸道具を大に利用して下さい。

今こゝで、先に与へた“ロータリアンとしての私は何をなしつゝありや”と云う質問に立派に答へなければならぬ。よく教育されたロータリアンは常に良きロータリアンである。私が上で述べた道具は實際的道具とも云うべきものでしょう。この外に更に大切な道具がある。それは吾々の心の中にあるべきものであるが、もつと大切に、もつと活力のあるものである。それは即

(1) ロータリーへの信条

(2) " " 情熱

(3) " " 忠実

(4) " " 愛情

ロータリーと云う大構造物を建築するには、實際的道具と共に、これ等が必要欠くべからざるものなのである。

私は嘗てロータリーとは、職業、社会、国家を通して、友情に溢れるサービスをさせるために、人間の魂の中に植へつけるべき胚芽であると云つた。この胚芽の肝腎の分子は、上述のロータリーへの信条、情熱、忠実、愛情の四つから成るものであると信ずる。

この四つが基礎を為して居る。之れ等が、然らば、創設者 Paul Harris にどう云う風に具現されて居たでしようか。私が Paul と一緒になつた時、(それは私の生涯で最も幸福を感じた時であつた) この運動の創設に渴仰と愛情を注いだ彼の推進力と情熱から、私は言葉では云へない魅惑と鼓舞を受け、彼の虚弱な体から強い活力の注入を受けた。彼の偉大な精神は、愛情友誼と理解こそは、人類のため世界のために、どんな偉大な仕事でも為し得るものだ云う強い確信を持つて居た。彼は公正な手段を以てすれば、戦争の防止は可能であるとの不動の信念を持つて居た。ロータリーの道具は当にこの目的に叶うものであり、窮極の国際理解、友誼と平和の達成はこの道具の充分の活用による以外にはないと思う。

ロータリーを何と云ひ現はすべきか。“友情を行動に”と云う以上の答へはあるまいと思う。

この会議中諸君はロータリー・サービスの種々の面に就いて話を聞くでしよう。その中で特に二つの点に留意すべきである。第一の点は、ロータリーは極めて単純なものであると云う事であつて、そのポリシーは甚判り易い真実即 Service Above Self の上に立つに過ぎないと云うことである。ロータリーは兎角(特に新しい会員に)非常に複雑で、含みが多くて迷路にさまよう感じを受けると云はれ勝ちである。然し友情を以て睦じく生活し、公正に振舞うと云うだけで、ロータリアンたるものの本質に吐うと云う単純な信条を持つならば、何も複雑な事はない筈である。少しも込み入つたことはない。然し一方には、ロータリーを運営するには、会長、副会長、理事会、ガバナー及諸規定があることを忘れてはならぬ。只、お互にロータリアンと云う者は、正しく生活し、銘々が占める場席に対してサービスと云う正しい損料を支払い、交渉のある人々には些細な事でも、親切と友情を以て万事を運び、法律が命するからと云うのでなくして、正しきが故に正しきを為すと云う、それだけでロータリアンたるにふさわしいと云へるのである。

1950年に私が日本に来た時に、一宮 R. C. のチャーター・ナイトに出席して、安野会長から風変わりな甚だ面白い有益な、ロータリー・サービスの話を聴いた。私はその話を度々引用して居る。それは、“ロータリーは天の星をかき廻そうとするものではなく、脚下の小さい石を拾ひ上げようとするものである”と云うのである。

ロータリーと云うのは、単純に云へば、第一に、仲間の人達のためにクラブ内でそれ相応の務めを、進んですることにより、仲間に友情を示すこと、第二に、競争者だろうが労使の間であろうが、日夜何人にも進んで親切に公正に事を処することにより、仕事関係仲間に友情を示すこと、第三に、都市の福祉の為に進んで貢献し、以て市民に愛情を持つこと、第四に、世界の平和と幸福をもたらす為の相互理解と協力を計り、国際間に友情を推進することである。

次にロータリーの事業計画に就いてゐるが、その目的とするところは何か。それはロータリーの理想を推進し表現する為のものである。而して、それは個々のロータリアンに、クラブ内にも、職場にも、都市内にも、更に又国際関係に於ても、到る処にサービスの機会がころがつて居ると云うことを銘記させる為のものである。為し最も大切なことは、只知ると云うことではなくして、実行すると云う事である。であるから、個々のロータリアンをして自分自身の有りの姿、そのサービス理想を表明させるべき様に計画すべきである。ロータリアンがクラブサービスとしてクラブ内でする活動は、彼のクラブへの忠実さの内面的表示である。ロータリアンの、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕としての活動は、彼のロータリー理想への献身の外面的表示であると共に、又そのクラブの都市に対し、国家に対し、世界に対する奉仕の対外的表示である。願くば、ロータリーの活動事業計画の意義と、ロータリーが慕進しつゝある四大道の意義をよく理解し、而して又ロータリーをよく強化して、善に対する強い擁護力たらしめることを切望します。

五十周年記念はどうすべきでせうか。吾々は只会食のために集るグループではなく、実行的理想家の団体であることを世界に知らしめなければならぬ。

事実世界の現状は失望を感じしめるものがある。あらゆる努力にも係らず、世界は猜疑、不信、誤解の薄暗の中に低迷して居る。しかしこの薄暗は暗黒の中に没入しようとして居るのではなくて、金色の光の到来を待ちつゝあると思はれます。

青少年奉仕が、即この光明來の機会である。青少年は何時の時代にも臨界点に立つて居たのであつて、先輩の指導訓練によつて、右か左か、何れかへ踏み切つたものである。このことは特に現代に当てはまる。今日は、これ迄よりも、青少年はより多くの自由と、善にも悪にも、より多くの機会を持つて居る。彼等は互に相闘争する世界のすべての理想からの目標となつて居るから、彼等を失うてはならず、又簡却してはならぬ。このことは又過去数十年間繰返し証明されて來て居る。故に青少年の善への歩みの機会を拡大することは緊要のことである。

吾々が国際理解、好意、平和を勝ち取ることが出来るとしたら、それは青少年の魂の中に種を蒔くことによつてであらう。公生活及事業界の水準向上の成否は、一にかゝつて青少年の魂の中に、フェアプレイの原則と高い道德基準を孵化させる能力が吾々にあるか否かにかゝる。

青少年サービスのやり方に就いては、大体のクラブに対しては、くたくたく多くを語る要はあるまい。その基本的条項として考へなければならぬことは、保健問題、よく纏まつた教育、精神練成、良市民たるべき刺激、国際問題の正しい理解、他国民への正しい心構への推進等である。

市内の学校生徒及青少年に向つて、ロータリーの 4 Way Test を適用すること。それは次の時代の人達の人格育成に極めて有益である。それは又吾々成年が日常生活に常時適用して成果大なるものがある。

ロータリー財団奨学給費制度と奨学プログラムは大に賞讃さるべきものである。制度創設以来、既に凡 600 名の男女学生を、56 の国及領域から選定して、35 ケ国に於て勉強させることが出来たと云うことは、私のみならず、ロータリアン諸君全員の感激であると思ひます。これと共に、11 名の特別研究生が支給を受けました。給費総額は 150 万弗以上に上つて居る。医学、社会学、自然科学及教育学の各分野の、勝れた青年中から入念に選拔された、これ等学徒が高度の知識を獲得し、或は又最新の技術を修得するこ

とが出来たのである。彼等は遊学都市附近の R.C. で演説し、又帰国後その国の R.C. で講演をして居る。彼等は種々の討議に参加し、又ロータリアン其他の人々の家庭を訪問し、斯くして遊学した国の生活方式を直接学び取つた。彼等は国々の社会的、文化的並に経済的考へ方を比較検討する機会を得、又遠く国外から有りのまゝの姿の祖国を眺めることが出来たのである。

この制度の留学生によつて、国際友誼、国際知識及相互理解が大に促進されて居る。その収獲の大なる、驚くべきものがある。

世界の運命は益々青年への関心を高めつゝある。ロータリーはこの奨学制度によつて世界の平和に大に貢献しつゝあるものと確信するものであります。これに対する全日本ロータリアン諸君の誠実にして絶へざる関心協力を称讃致します。

こゝで更に一言致したい。それは何かと云ひますと、国際的理解、友好及平和の促進に就いてあります。ロータリーの目的は、そのどの部面をも等しく推進しなければならぬこと、又個々の伸展向上を計るための教育的な仕事に、ロータリーの目的とするクラブ活動を流しこんで、適当に調合することが、刺戟の意味で、甚大切であるとするところはよく承知して居ます。私は、しばしば、均衡を得たロータリアンと云うことを言ひました。しかし、私はロータリーの活動成果を上げるには、国際奉仕には少々余計の力を入れなければならぬと思ひます。ロータリーの最大の仕事は国際面に在ると思ひます。人間と人間との世界的友好が平和を招来するのであると信じます。吾々はこのことは夢ではなくして、現実性のものであると云う信念を以て、狂奔しなければならぬ。吾々は失敗しうになると、気がくぢけ易いのであるが、絶対に気がくぢけずに、働きつづけなければならぬ。平和は、戦争と同様に、心の状態である。吾々は戦争に勝たむがために進んで努力したと同様、平和のために一生懸命に働くことを学ばなければならぬ。斯のことは事実峻阻な道を歩むことにちがいないが、最後には輝かしい褒賞が得られるであらう。

吾々には為し得べきことが多々ある。吾々は益々人種、宗教、皮膚の色の差異は問題にならないこと、並に人間性は一つであるとするを、よく知りよく了解するであらう。吾々は国際問題への関心をあらゆる方法で刺戟することが出来るであらう。ロータリーが吾々個々のロータリアンに期待して居るところの、広い気持と紳士精神とを涵養することが出来るであらう。そして又吾々は隣人への尊敬心を育成すべく熱心に努めることが出来るであらう。吾々は統合することが出来て、吾々に課せられたことに時間を空費しないですむ様な事柄を探捜しなければならぬ。社会を統合するものは分裂させるものより遙に大切なものである。吾々は特別の機関を通じて、人類中の薄幸な人達の福祉の為に大なる働きをなしつゝある U. N. の人道主義的活動を支持するものである。これにはロータリーと全く一致する場面があり、又吾々の手には、現時の危機から生じた斯かる広大なサービスの好機に、対処し得べき手段を持つて居る。吾々は他国人を理解し、他国の問題、習慣をよく知ることに力を注がなければならぬ。

最後に、平和と繁栄は正義の上に立つてゐなければ、永續させ得るもので無いと云うことを悟るにちがいない。国際奉仕を効果的ならしめる多数の道具が吾々の手にある。吾々はこれ等の道具を即刻用いよう。然らざれば、日暮れて最早用いることが出来なくなるであらう。

結論として、ロータリーに対する私の明朗観、私の信条、並にロータリーは現在既に

大切なものとなつて居るが、諸君の熱心な協力を得るならば、将来更に大に重要性を増すであろうと云う見通しに就て力説致したい。ロータリーは世界に亘つての偉大な影響力である。誤解と恐怖の障壁を打ち破るべく大に助力して居る。何人も認むる如く、現在世界には多くの複雑な問題があるが、友情の真心を以て打ちかゝれば多くは解決されるべきものである。私は最近数年間に多くの国を訪問して、深い印象を受けたことが多々あるが、しかし“街行く人”が親切をしようとする、心からの好意程感激させられたものは無かつた。友情を思ひ、友情を語り、友情を書き、友情を生活して、この願望を鼓舞する為に全力を注ぎたいものである。私は時々数百万の人々が、この願望を心に浸み込ませ、吾々のサービス第四大道を進撃せむとする決意を固めたと云う感動を夢みることがある。然し夢みる時ではない。ロータリーへの忠節を再確認しませう。ロータリーへ入会した時に荷うた義務を果たすために全力を上げよう。ロータリーのために一層働かせよう。既に全世界を通じて斯く多数の人々を引きつけた、云ひ表はすことの出来ない、ロータリーへの感興を銘々が更に深めよう。友情と寛容の建設力が利己心、非寛容、恐怖の破壊力に打ち勝つ日の到来を促進するため、銘々が努力しませう。

私はロータリーとそれに結ばれたすべてのもの、すべての人を愛します。そしてその大なる使命を達成する力の益々強化されむことを切望します。

○国際ロータリー第六〇区第六一区連合年次大会に於ける柳瀬第六〇区ガバナー報告

R.I. 会長ハーバート・テラー氏の代表として再び来日して下さつた濠州メルボルンの元国際ロータリー会長アンカス・ミッチェルさん、蜷川京都府知事、高山京都市長、湯川京都大学教授、手島前国際ロータリー理事、元ガバナーの各位、来会の第六一区、第六〇区各クラブ会員並に家族の皆さん、本日茲に錦織りなす古都、京都に於て年中行事の一つとして吾々各地区が挙行しなければならぬ地区大会がロータリー五十周年行事の一として第六〇、第六一两地区連合にてホストクラブとして京都クラブの絶大なる御世話の下に盛大に開催せられ、第六〇区ガバナーとして御挨拶申上御報告する機会を与へられました事は、誠に光榮とする処であります。

前年度国際ロータリー会長ホアキン・セラトサ・シビルス氏は就任の第一声として、全世界のクラブ拡大を強調せられ、当時現存の 212 のロータリー地区が、一地区単位に五つのクラブを作る事を要請せられたのであります。去る五月レーキブラシッドに於ける国際協議会に於ても、此の目的を達成せる地区のガバナーノミニーを呼び上げ、大に称揚せられたものであります。結局一年間に新設せられた数は 481 クラブで、予定の半ばにも達しませんでした。然し 500 になんなんとするクラブ増設に拍車をかけられた功績は、多大なものと申さねばなりません。会員数も約 15,000 余の増加を見、本年六月末のクラブ数は 8,313 クラブが 89 ケ国に跨り会員数も 391,000 となつて居るのであります。

然らば吾々が日本に於けるクラブの現状は如何かと見ますと、本部発行のオフィシャル・ダイレクトロリーに依りますと、昨年七月一日現在に於て

第 60 区 56 クラブ

第 61 区 50 クラブ 計 106 クラブでありましたが

本年七月一日現在に於きましては

第 60 区 70 クラブ

第 61 区 70 クラブ 計 140 クラブで、一ケ年間に 34 クラブの増加となり、又会

員数も

昨年七月現在は

第 60 区 2,210 名

第 61 区 1,880 名 合計 4,090 名でありましたが、

本年七月一日に於きましては

第 60 区 2,735 名

第 61 区 2,498 名 合計 5,233 名で、1,043 名の増加となつて居ります。

此の内 60 区が 14 クラブ 525 人、61 区が 20 クラブ 618 名の増加で、第 61 区の発展振りが如何に活潑でありましたか、国際ロータリー各地区中第一位を占められた事は、特筆に値するもので、茲に皆さんと共に北沢前 第 61 区 ガバナー並に之れを醸成されました各スポンサークラブに対して、兄弟地区として私より特に敬意を表する次第であります。

然らば第 60 区は如何かと申しますと、14 クラブの増加で 525 名の会員数の増加となつて居ります。世界ロータリーの地区別増加数に於て、日本の第 61 区、フランスの第 73 区の 16 クラブ、メキシコの第 107 地区の 15 クラブに次で第 4 位となつて、是亦宮脇前ガバナー並にスポンサーされた各クラブに対し、皆さんと共に深甚なる敬意を表したいのであります。

扱新会長ハーバート・テラー氏は、去る五月の国際協議会に於きましても、又シャトルに於ける国際大会に於きましても、新クラブの増設に付ては、一言も触れて居りませんが、各クラブが会員数の一割増を強力に促して居るのであります事は、本部からの通信に又私の月信に依つても已に御承知の通りであります。前刻申述しました通り、本年七月現在会員数は 391,000 人で、之れを 10% 増加する事は 39,000 人の増加であります。

昨年一ケ年間に 480 のクラブが出来増加した会員数は 15,000 人で、本年要求せられて居ります増加人員の半数にも及ばなかつたのであります。10% の増加は簡単の様であります。中々容易な業ではありません。今迄私が公式訪問しました 24 のクラブは、已にハープ会長の要望にこたえられて大体に於て増加し、趨勢を辿つて居られる様ですが、其他のクラブに於かれましても、何卒御尽力を御願いたします。本年は会員増加率に於きまして、第六〇区が世界第一位を克ち得ん事を切望する次第であります。

本年六月三十日の第六〇区会員数と、九月末に於ける会員数とを比較して見ますと 130 人の増加となつて居りますが、浦和、花巻新クラブが成立いたしましたので、旧クラブ会員の増加は約 80 名であります。勿論会員増加に当りましては More Men in Rotary よりも More Rotary in men を御考慮願いたく、人物に十分御留意下さると共に、職業分類にも容易ならざるものがあると存ぜられますが、第二会員制 Senior active, Past Service 制を極力御利用あらん事を願います。

尙新クラブの設立に付ても、本部は中々熱心で、前ガバナー宮脇さんの公式訪問の報告を基として、中々熱心に其経過を照会してまいります。私もガバナー就任と共に 70 のクラブを如何にして御協力御指導し得るか甚だ苦慮もし、此上新クラブの誕生は、とても体が二つあつても足りないし、御免蒙りたいと考えて居たのであります。扱ガバナーになつて見ますと、矢張り新クラブが生れる事は、誠に嬉しい気持ちのいたしますもので、已に浦和、花巻、小田原の三クラブが出来ましたが、余り悪い気持は致しません。北沢さん、宮脇さん嘸嬉しかつた事と拝察いたします。各クラブに於かれましても、五〇周年記念事業として、新クラブのスポンサーをやつて居らるゝ様承つて居りますが、一日も早く新クラ

ブの誕生を待つて居ります。

クラブの数、会員の数が増加する事は、何を意味するものでしょうか、戦前日本、満州、朝鮮、台湾と之の大区域と一億余の人口を以て、ロータリークラブは48、会員数2,000に過ぎませんでした。戦後、敗戦後の今日四つの島丈に145のクラブ5,300人の会員を持つに至りました事は何んとも見ましようか、斯く日本のロータリーが盛況を来しつつある事は戦前軍其他官憲の圧迫がありましたとは申せ、戦後手島前理事、星野、小林、鳥養、宮脇、北沢各ガバナーの熱誠なる御指導の賜であり、茲に感謝の辞を捧げるにやぶさかでありませんと同時に、今日ロータリアン各位の自覚と、奉仕の精神の顕われが、戦後の社会にピッタリと合致と申しますか、アピールして来た結果と私は信じて居るのであります。丁度現在、日本に於けるロータリー活動と、実社会の關係に付て一寸触れましたが、此機会に一層弘報活動即 General Information-Publicity に付一言申上度いのであります。Rotary Publicity に付きましては、雑誌ロータリアン及ロータリーの友を、一般に読んでいただく事も必要であります、矢張何と申しまして新聞、ラジオの力は多大なるものがあります。之等の機関を利用しないで、或は御頼しないで一般弘報は到底満足な結果を得られないと存じます。已に訪問いたしました各クラブは、何れも新聞社、ラジオステーションと誠に密接なる關係を保持して居られる事は、私の最も喜びとする処であります。昔から日本では沈黙は金なり、善行は自と顯ると申しまして、発表は差控えられたものであります、之れに反し米国では、盛に宣伝広告をやつて居る事は御承知の通りで、此の宣伝広告を見る側では、其等が何れも眞實を報告、広告即読者に信頼感を与えて居る結果、之に頼り、又報導の効果も生じて来るのでありまして、吾々ロータリアンも、是れが社会を益する立派な活動をやつて居るならば、ドシドシ報導して頂いて差支ないんぢやないんでしょうか、私は今立派なロータリー活動と申しましたが、新聞、ラジオに出して頂く為には、ニュース価値のあるものでなければ、貴重な紙面、貴重な時間を割いてくれと申しても、無理ではないでしょうか。次にロータリーの奉仕に付て、サービスに付て少し話さしていただきます。

最近会長テラー氏は、ロータリーに付て定義を下し、Rotary is a maker of friendship and a builder of men ロータリーは友情の製作者であり、又人格の建築者であると申し、又ロータリークラブに付て、現在第二副会長である英国の Stamp Wortley 氏は次の様に申して居ります。即ロータリークラブとは、各種事業並に専門的職業に従事せる人々の組織団体であつて、其人々とは人類の幸福に欠くべからざるものは、奉仕の精神なりとの信念を保持し、吾々人類の弱き性格を鞭ち家庭、事業、社会の夫々の生活に於て、ロータリー精神を実行せんとする大決心を持ち、自ら範を示して他にも及ぼし、更には世界人類に平和と幸福をもたらさんと欲する信念の下に、全世界が奉仕の精神を推進する様、他の人々を感化せんと努力する人々なり。……と申して居ります。ロータリーには、皆さんの御手許にある京都クラブ作成のパンフレットにも誌してあります通り、四つの目的綱領があります。そして四つの奉仕の部門があります。吾等の目的とするロータリーの綱領即(1)奉仕の機會を作る為知り合を拡め、(2)社会に奉仕する目的を以てロータリアン各自の従事する商業又は専門的職業の徳義的水準を拡め、その職業の眞価を認識し、且つ職業其のものに權威あらしめ、(3)凡そロータリアンは其個人生活、職業生活、社会生活の別なく、常にこれに奉仕の理想を励行し、(4)奉仕の理想の下に結ばれた実業家及専門家の世界的友誼に依り、國際間の理解と友好と平和とを促進す……となつて居ります。これこそ吾々が日

常心して努めて居ります四つの奉仕の大道に通づるものであります。私は茲に四つのロータリーのサービスに付て、詳細説明申上る余裕もなく、又各ロータリークラブに於かれては、ロータリーの綱領を良く体得せられ、活動して居らるゝ事と承知して居りますので、深く言及いたしません、茲には簡単に各部門に就て、私の希望を申述さしていただきます。

第一はクラブサービスの出席に付てあります。

各ロータリークラブが、出席に付て相当やかましく申して居りますが、出席は手段であつて目的でない、従つて出席しなくても、しつかりロータリー活動をすればいいのではないかと申される方もありますが、最近各方面から受取つた各地のガバナーズレターを見ましても、出席に付ては相当やかましく誌して居ります。一週一度、一時間の会合に出席する事は、矢張りロータリーの綱領の第一にある、会員間の友情の増進を図らんとする為であり、又ロータリーの活動を為さんが為の、談合の機会を一時でも多く持たんが為の必要から来たものではないでしょうか。第六〇区の出席率も追々とよくなり、本年六月迄の一年間の総平均が89%弱で、前年度よりも約1%上昇せる事は、誠に欣快とする処で、本期に入りましても七月90.9 八月91.9 で、九月が91.7%で少しづつでも良くなつて居る事は御同慶の次第であります。

之の出席率の増進に依りまして、ロータリーの活動が益々盛んになつて居る事は、想像にかたくありません。

第二は職業奉仕に関してあります。職業奉仕は最近の各会員の勉強と、小林前ガバナーの御指導等に依り、相当御了解になられ、非常に喜ばしく考へられます。茲では現 R.I. 会長が大に慇懃して居らるゝ 4 Way Test に付き、一層の御考慮を煩したく存じます。此のテスト反省と申しますか……の起源に付きまして、今更茲で私が説明する迄もないのでありますが、御家族の方々も居られますし、御話申上る事は御参考になるのではないかと存じ、かいつまんで申上ります。

此の 4 Way Test は現国際ロータリー会長テラー氏の発案になるもので、1933 年頃の世界的不況の際、シカゴにあつたアルミニウム家庭用具販売会社が、約四〇万ドルにも昇る負債を作り、につちもさつちも行かなくなつたので、テラー君を社長に招聘して復興を頼んだのであります。テラー君は之の不振を切り抜けるには、結局次の四つのテスト反省を以て事に当る外なしと考へ、会社の内外を問はず、之の反省を実行に移したのであります。即夫れは至極簡単な事であります。

1. それは真実であるかどうか
2. それは関係者に公平であるかどうか
3. それは親善を生み友情を増すかどうか
4. それは凡ての関係者に有益であるかどうか

これ丈であります。

此の反省のテストを社の内外に実践する事に依り、之のアルミニウム会社は、ダンダン成績を上げ、数年後には借金を皆済したのみならず、多大の資産を増す事が出来たのであります。テラー氏は国際ロータリー会長に就任決定するや、此の四つのテストの版權を無料移設し、五十周年記念事業の一つとして、世界に於ける各クラブの会員が、日常生活の定規として適用せられん事を希望し、進んでは学生間にも徹底方を進めて居るのであります。此の四つのテスト文言其のものは、極めて簡単であり、何でもない事であります。

が、一步下つて日常生活を振り返つて、果して此の反省通り、吾々が生活をやつて居るかを考へ見る時、恥しくない人が幾人あるでしょうか。更に進んで他の人に勧め得る人が幾人あるでしょうか。私自身こんな御話をするに当つて、自分の平素を顧みて誠にお恥しい次第であります。然し恥しいからと申して沈黙する事は、却つて自分の卑屈をあらわす事でありまして、勇氣を振つて申上げ、自分も一層の努力を致したいと考へるのであります。

已に各クラブでは、此のテストと取り組まれて、実際に身につけ、社会にも学校にも応用せんとする意気に燃えて居らるゝ方々の多い事を悦んで居りますが、こう申しますと如何にも宗教家の申す様な事を申して居りますが、テラー氏は非常に信仰に厚い方だと聞いて居ります。ロータリーは宗教に次ぐものだという方もありますが、或は然らんと申せるのではないのでしょうか。

第三は社会奉仕の問題であります。已に皆さんは如何に自己の属する社会に奉仕するかにて、十分御承知の事であり、御実行中の事と存じます。只私として特に強調したい事は、青少年問題の検討と其奉仕であります。現下の青少年が何を考へ何を欲するか、青少年の不良化が何に起因するか、十分研究しようではありませんか。

先刻申しました四つのテストを学生間に掘めたい事も、青少年が依存すべき何ものかを要求して居るのではないのでしょうか。吾々は青少年に付て、もつと理解を持つ必要を痛感するのであります。

第四は国際奉仕であります。今日の日本程、世界の平和を願つて居るものはないでしょう。各国人間の理解なくして、平和の存在しない事は明白であります。39万人余のロータリアンが、相互の理解に依つて、平和に貢献する大なる力を持つて居るのであります。39万人が良く知り合つた友人となつた時、戦争は起らないと申しても過言ではありませんまい。ロータリー奨学資金制度により、仮令一年とは申せ、沢山の学生大使が造られつゝあります。会員一人当り \$10 の寄附の外に、各ロータリアンが毎年一人当り \$1 宛を供出すれば、現在の奨学生を倍加する事が出来るとテラー会長は申して居ります。第六〇区でも已に三つのクラブが、毎年 \$1 の釀出をして居られます。他のクラブも大に賛成せられん事切望いたします。

本年迄に已に六〇六名の奨学生が、異なりたる国の学校で、各国間の学生大使として其目的の為に、勉強しつゝあるのであります。

職業奉仕と申すも、社会奉仕と申すも、国際間の葛藤が起れば、問題はすつかり戦争の為の奉仕に移ります。国際奉仕こそロータリアンが、大に努むべき第一義的のものではないのでしょうか。

以上を以て私の報告及挨拶は終りに近づきました。Paul Harris は死の直前に申して居ります。ロータリーは万事がオールライトであらうか。若し然らばロータリーの最後の日近づきつゝあるのである。

ロータリーの如何なる部分と雖も、恐らく改善を要しないものはないはずである。ロータリーの開拓時代は、今や、やつと始まつた計りであると自分は考へたい。と、ロータリーの偉人ボールの言葉は、吾々五十周年を目睫に迎へんとする今日、大に玩味して来るべき五十周年記念事業を、四つの奉仕の道を通じ、最も有効に達成すると共に、吾々ロータリーは再発足の意氣を以て活動を初め様ではありませんか。

最後に会長テラー氏が、連合地区大会に寄せられたるメッセージを申し上げたいと存じます。

アナタ方両地区全部のロータリアンに対して、私は心からの御祝と地区大会の成功と夫れが各位を奮起されるものである事を希望いたします。

私自身此の良き機会の親交に貢献する事が出来ませんが、夫れにも不拘、地区大会に対する私の関心は強烈なものとあります。私は大会が五〇周年の最も記念すべき行事の一つとなる事を切望するものであります。ロータリー間の友情のきづなを強くし、ロータリーのプログラムに対しては、より以上の深き理解を与え、そしてロータリーの理想を日々の実行に移す決心を新たにせられん事を、常に人生に良き事のもたらされん事を希望いたします。

又元ガバナー森村市左衛門氏から、「ロータリー五〇周年記念連合大会を祝す」とのメッセージがありました事を、御報告申上ます。

吾々両地区は、本連合大会を一応最後として、四つの地域に分れるのであります。吾々は京都クラブの此の好意ある御配慮に対して、十分交友を新にし、大会を有意義のものといたしたいものであります。

以上を以て、私の挨拶と報告を終ります。御静聴を感謝いたします。

